



家庭通信 9月号



2025年8月29日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健便り等もHPでご確認いただけます

残暑の厳しい中、日中は真夏のような日が続いていますが、朝晩の気温は少しずつ暑さが和らいでいるようです。夏の間に色々な体験をした子どもたちがその体験を遊びで再現したり、経験したことを伝えったりして子どもたちが大きく成長する2学期です。移り行く季節の変化を保育に取り入れながら、自然が創り出す様々な事象を子どもたちとじっくり味わいながら感性を磨いていきたいと思っています。

さて、7、8月は、多くの小中高大学生がボランティアにやってきました。その中には、卒園生も多く、お兄さん、お姉さんとしてボランティアをしてくれているその姿は、頼もしくもあり、その子たちが通っていた頃を思い出しました。その中で印象的だったことの一つに、給食の配膳に入ってくれた小学生が「この給食のにおい懐かしいなあ」と言った事です。おそらく園児だったころには、給食の匂いは日常であり、さほど気にもしていなかったことだったのでしょうが、数年経って、「懐かしい」と言って記憶を思い出すきっかけとなったものが、給食のにおいだったのです。乳幼児期は五感を通して学ぶ時期だと言われていますが、給食は視覚、嗅覚、味覚を刺激して記憶を定着させたのでしょう。そして、五感の中で一番記憶に残りやすいのが、嗅覚だということが実証された出来事でもありました。何故なら、五感の中で忘れていく順番は“聴覚→視覚→触覚→味覚→嗅覚”的順番だと言われているからです。乳幼児期は脳の土台を作るとされていますが、その土台作りに重要な事が五感を通した刺激です。園生活でも五感を意識した生活を行っていますが、ご家庭でも朝カーテンを開けて朝陽を浴びる、心地よい声掛けで目覚める、食事の美味しそうなおいに刺激を受ける、大人に抱きしめてもらうなど五感をフルに働かせる日々の暮らしの積み重ねが重要なのです。夏の疲れが出やすい9月ですが、生活習慣を整えて大人も子どもも元気に2学期をスタートさせましょう。

*9月の保護者会等で早寝早起き朝ごはんガイドブックを配布します。アンパンマンの挿絵が入り幼児向けとなっていますが、乳児の方々にも参考になりますので、親子で一緒に読んでください。

9月のねらい

*3.4.5歳児のねらいは、9月・10月のねらいです。

<年長>

- ・様々な材料や道具を使い、試したり、考えたりしながら作りたい物や場を作る事の面白さや満足感を感じる
- ・自分の思いや考えを相手に分かるように伝えたり、相手の話に耳を傾けたりして、自分たちなりに考えたことを進めていくことを楽しむ
- ・様々な運動遊びに興味をもって取り組み、全身を動かして遊ぶことを楽しむ

<年中>

- ・保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ
- ・季節の変化に興味関心を持ち身近な自然に触れる
- ・自分の好きな遊びをする中で友達との関わりを楽しむ
- ・様々な素材に触ながら、自分たちなりに考えたり、クラスの友達と力を合わせて作ったりすることを楽しむ

<年少>

- ・生活のリズムを取り戻し身の回りのことを自分でしようとする
- ・自分のやりたい遊びを選んで十分に楽しむ
- ・保育者や友だちと同じ場で遊ぶことを楽しむ
- ・保育者と一緒に体を十分に動かす心地良さを感じる
- ・色々な素材に触れ、自分なりに工夫して作ることを楽しむ

<2歳児>

- ・言葉にして表現することで、保育者や周囲の子どもたちとイメージを共有して遊ぶことを楽しむ
- ・楽しい雰囲気の中で、食具を使って食べようとする

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています